

Keiba Global Front Line

競馬グローバル・フロントライン

競馬の最前線で活躍する馬や人をご紹介致します



合田 直弘

欧洲の障害シリーズも後半戦に突入し、総決算となるチエルトナム・フェスティヴァルの開催まで1ヶ月半余りという時期を迎えている。いつもながら話題満載のチエルトナム・フェスティヴァルだが、中でも抜きん出た注目を集めているハーナーサックル(牝8、父スマラニ)が、今月のこのコラムの主役だ。

独国で走り、平地で1勝した後、ハーナードルでLRバーデナールーレット賞(芝300m)2着などの実績を残したファーストロイヤルの4番仔として、英国で生まれたのがハーナーサックルだ。ボイントトウポイント競走を1戦した後、パンチエスタン障害セールに上場され、ヘンリー・ド・ブルムヘッド調教師の代理人を務めたピーター・モロー氏のラスモア・スタッドに11万ユーロ(当時のレートで約1482万円)で購買されている。

ハーナーサックルは、ブルムヘッド師の顧客の一人であるケニス・アレグザンダー氏の所有馬として、18年11月にデビュ。フェアリーハウスで行われた牝馬限定のメイドンハーダードル(芝20F)を12馬身差で制し、快進撃がスタートした。3戦目となつたフェアリーハウスのG3ソレリーナメアズノーヴィスハーダードル(芝18F)を制し重賞初制覇。同じくフェアリーハウスで行われたG1メアズノーヴィスハーダードルCSファインアル(芝20F)も制し、無敗の4連勝でG

欧洲の障害シリーズも後半戦に突入し、総決算となるチエルトナム・フェスティ

ヴァルの開催まで1ヶ月半余りという時

期を迎えている。いつもながら話題満載の

チエルトナム・フェスティヴァルだが、中でも抜きん出た注目を集めているハーナーサ

ックル(牝8、父スマラニ)が、今月のこのコ

ラムの主役だ。

独国で走り、平地で1勝した後、ハーナードルでLRバーデナールーレット賞(芝300m)2着などの実績を残したファーストロイヤルの4番仔として、英国で生まれたのがハーナーサックルだ。ボイントトウ

ポイント競走を1戦した後、パンチエスタン障害セールに上場され、ヘンリー・ド・

ブルムヘッド調教師の代理人を務めたピ

ーター・モロー氏のラスモア・スタッドに

11万ユーロ(当時のレートで約1482万

円)で購買されている。

ハーナーサックルは、ブルムヘッド師の顧客

の一人であるケニス・アレグザンダー氏の

所有馬として、18年11月にデビュー。フェ

アリーハウスで行われた牝馬限定のメイ

ドンハーダードル(芝20F)を12馬身差で制し、

快進撃がスタートした。3戦目となつたフ

ェアリーハウスのG3ソレリーナメアズノ

ーヴィスハーダードル(芝18F)を制し重賞初

制覇。同じくフェアリーハウスで行われた

G1メアズノーヴィスハーダードルCSファイ

ナル(芝20F)も制し、無敗の4連勝でG

1初制覇を果した。

牡馬と対戦するようになつた翌19/20年も連勝街道を突き進み、シリーズ2

戦目となつたフェアリーハウスのG1ハット

ンズグレイスハーダードル(芝20F)を9馬身

差で制し2度目のG1制覇を果すと、続

くレパーズタウンのG1愛チャンピオンズ

ハーダードル(芝16F)も制覇。このシリーズの

チエルトナム開催では牡馬限定のG1メ

アズハーダードル(芝20F)に照準を定め、こ

こもモノにして、まずは牡馬ハーダードラーの

頂点に立つことになった。

20/21年シーズンも、前年に続いてG1ハットンズグレイスハーダードルとG1愛チャンピオンズハーダードルを連勝。このシリーズ

のチエルトナム・フェスティヴァルでは、満

を持してハーダードル2マイル路線の最高峰

G1チヤンピオ・ハーダードル(芝16F 87Y)に

挑み、ここも6.1/2馬身差で快勝して、こ

の路線の最強馬と自他ともに認められる

存在となつた。

その後はさらに、パンチエスタン・フェ

スティヴァルのG1パディー・パワー・チャンピ

オンハーダードル(芝16F)に駒を進め、ここも

勝つて無敗の連勝記録を“12”に伸ばして

いる。

そのハーナーサックルの、今季初戦となつたのが11月28日に行われたG1ハットンズグレイスハーダードルで、ここも8馬身差で

すとともに、無敗の13連勝を飾つた。

18年11月のデビューから一貫してハーナーサックルの手綱をとっているのが、レイチ

エル・ブラックモアだ。競馬ファンの皆様には今さらご説明するまでもないが、昨季

のチエルトナム・フェスティヴァルで女性騎手として初の開催リーディングに輝き、

翌月にはミネラタイムスに騎乗しての女性騎手として初のG3グランダナショナル

(芝34F 74Y)制覇を果したのがレイチエル・ブラックモアだ。

すなわち、ハーダードル界の絶対的女王に、

欧洲競馬界に出現した史上最高の女性騎手が騎乗しているのである。人気が沸騰するのも道理で、今季初戦のG1ハット

ンズグレイスハーダードルを快勝した彼女たちが凱旋してくると、フェアリーハウス競馬場のスタンンドでは、日本に置き換えれば「万歳三唱」に相当する「スリーチアーズ」が沸き起つてゐる。

ハーナーサックルはこの後、2月5日のG1愛チャンピオンハーダードルから、3月15日のG1チヤンピオ・ハーダードルに向かう予定で、

チャンピオンハーダードルの前売りではオッズ1.7倍～1.8倍という圧倒的1番人気

に推されている。

ハーナーサックルの連勝がどこまで伸びる

か、日本の皆様にもぜひご注目いただきたい。